

惨事ストレスケア

株式会社パソナセーフティネット

<https://www.safetynet.co.jp/service/others/#disaster>

惨事後の心のケアを通じて、従業員のメンタルヘルス不調予防に向けたサポート。

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴	
北海道	東北	関東	甲信越	職場における自死事案や事故発生に伴う従業員への心理的影響を最小限にし、メンタルヘルス不調の予防に努め、職場への信頼醸成をサポート致します。	
北陸	東海	近畿	中国		
四国	九州	沖縄	海外		
提供可能法人規模 (◎:実績あり、○:提供可)				<サービス> ■ ストレスマネジメント研修 (研修録画配信) 惨事によるストレスがかかった際の心理的な過程や、ストレスの受け止め方、セルフケアの方法などに関する動画視聴環境をご提供。	
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上		
—	◎	◎	◎		
サービスの目的・期待される効果				■ 惨事ストレスケア面接 自死や事故があった際にその場にいた従業員や、同じ部署に所属している従業員など 当社カウンセラーが個別にカウンセリングを実施。IES-Rを使用しメンタルヘルスリスクをスケールします。	
【凡例】◎:実証評価>●:理論的裏付け>○:ユーザー評価					
基盤整備	法制度対応		—		
	制度・施策体系の整理		—		
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		○		
	組織状況の把握		—		
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		—	■ レジリエンス・メンタルヘルスケア研修 (オンラインまたは対面研修) 急性ストレス障害や心的外傷後ストレス障害 (PTSD) の予防に向けたメンタルヘルスセルフケアを中心とした研修を実施。	
	相談窓口の利用率・認知率向上		—		
	プログラムへの参加率・利用率向上		—		
	不調の早期発見・対応		●		
	ヘルスリテラシー・意識向上		●		
	仕事のストレス要因低減		●		
	心理的安全性・上司のサポート力向上		—		
周囲のサポート力向上		—			
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善		●	導入企業の評価 ■ 建設業 (1,000人以上10,000人未満/人事部) ・外部で、かつ心理の専門職がカウンセリングをすることで従業員がショックな気持ちを吐き出す機会となった。カウンセリングを行うこと自体が従業員の安心感にもつながった。 ・こころのケアの方法を従業員自身が選択できるサービスであったため、多様なストレス反応に柔軟に対応でき、また侵襲的でない点が良かった。 ・人事としての初期対応についてコンサルティングを受けられたことで、状況を冷静に受け止め、落ち着いて対応することができた。 ・従業員のケアを専門家に対応してもらうことで、人事は必要な業務に注力することができた。	
	健康状態・心理指標改善		●		
	アブゼンティーズム改善		—		
	プレゼンティーズム改善		●		
	ワーク・エンゲージメント向上		●		
	従業員エンゲージメント向上		●		
労務指標改善 (離職率、残業時間等)		—			

惨事ストレスケア

株式会社パソナセーフティネット

<https://www.safetynet.co.jp/service/others/#disaster>

理論的裏付け

採用している理論の概要

惨事ストレスケアでは、災害や事故などの直後に発生する強いストレス反応を軽減し、急性ストレス障害やPTSDの予防を目的とした複数の理論を採用しています。急性期の過剰なストレスに早期介入することで慢性化を防ぐことを重視し、トラウマ反応を客観的に評価する尺度としてIES-Rを用いて心理的影響をスケールします。加えて、WHO等が推奨するPFA（心理的・ファーストエイド）を用い、安全確保や心理的安定化、社会的支援の再構築を図ります。また、ストレス理論やレジリエンス理論に基づいたセルフケア研修を行い、対象者の回復力を高め、日常や危機時の対処能力を育成します。これらを統合的に用い、即時支援から継続的ケアまでを提供しています。

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要